

俵ヶ浦半島バス減便問題 解決への取り組み

がないぞ！ 困った困った

九十九地区自治協議会

俵ヶ浦半島図

俵ヶ浦半島未来マップ

白浜海水浴場
白浜キャンプ場

丸出砲台跡

花の森公園

展海峰

九十九島
観光公園

なんと風光明媚な
半島だ！



俵ヶ浦半島バス路線図



ことの、始まりは

令和7年4月、俵ヶ浦町の住民から、生活支援コーディネーターへの相談

病院に行っても
帰りのバスがなくて
皆困ってるんだけど

以前は6往復あったのが
今は帰りが13時台と
18時台だけ

問題が大きすぎて
私一人では無理
自治協に相談して
みましょう



自治協での話し合い

相談者から説明

自治協の規約に合致
しているか確認

自治協としても
大きな課題であるが
取り組もう



解決に向け仲間を
増やそう！



問題解決のための組織作り



●地域住民主体の組織

会 長 : 九十九地区福祉推進協議会会長 (俵ヶ浦町)

副会長 : 庵浦町公民館館長

メンバー : 俵ヶ浦町民、庵浦町民、下船越町民 (各 1 名)
生活支援コーディネーター、自治協事務局 (2 名)

●小回りの利く組織

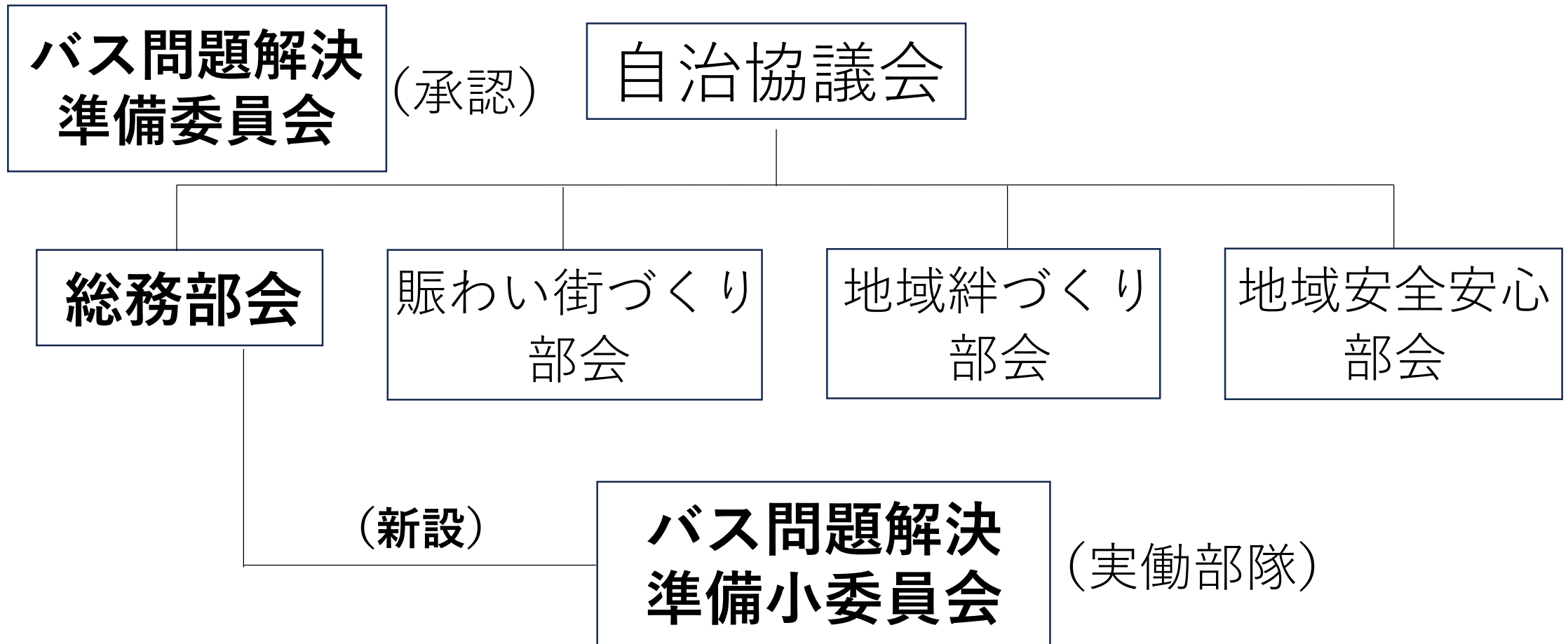
課題解決のため、効率化・議論内容・意見集約等、事前の協議チームとそれを承認する会とに分け推進



俵ヶ浦半島バス問題解決準備小委員会と命名し、承認部会を同委員会 (総務部会) とする

九十九地区自治協議会組織図

石岳町内会、船越町公民館、船越中央町内会、下船越町名切地区町内会
下船越町小島地区町内会、庵浦町公民館、野崎町公民館、俵ヶ浦町公民館



主な会議内容

第一回会議

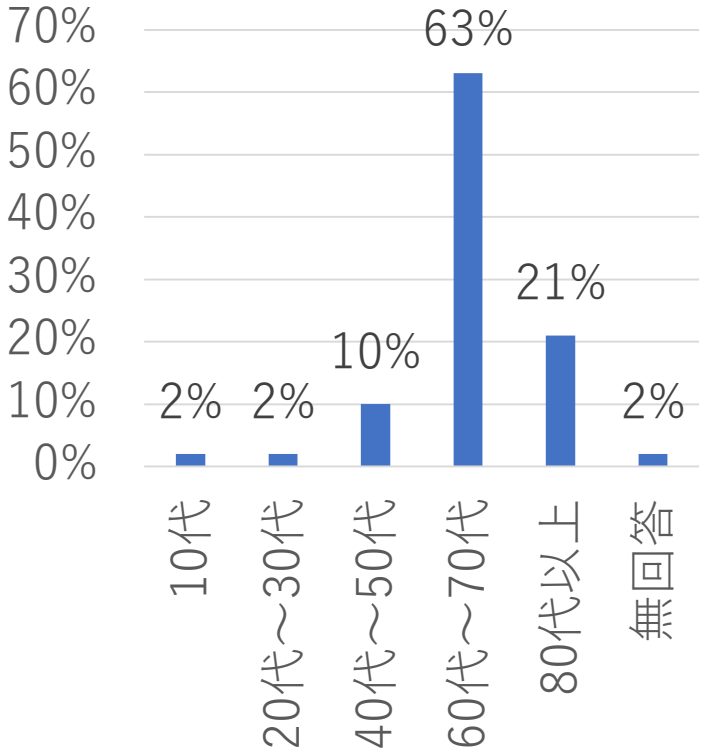
地域の皆さんの
困りごとを把握するために
アンケートを取ろう



どんな意見を
持っているのだろうか

俵ヶ浦半島『バスに関するアンケート調査』集計結果

調査時期：令和7年6月～7月							
配布世帯数：352世帯							
回収世帯数：246世帯 (70%)							
【回答者情報 年代】							
	庵浦	野崎	俵ヶ浦	名切	小島	回答数	割合
10代	2	0	1	1	0	4	2%
20代～30代	2	0	4	0	0	6	2%
40代～50代	10	4	8	1	1	24	10%
60代～70代	52	32	59	11	1	155	63%
80代以上	25	8	14	3	2	52	21%
無回答	1	0	3	1	0	5	2%
合計	92	44	89	17	4	246	100%



アンケートの意見多数

- ・ このままバスを減便すると、病院にもいけない。
- ・ 減便に対して帰りのバスがなく タクシー代がかかって苦しい。
- ・ バス減便により、病院等市街地への交通が不便である。
下船越バス停までの交通手段があると 非常に助かる。
- ・ 下船越終点のバスを俵ヶ浦半島まで、ぜひお願いしたいです。
現状徒歩で1時間半かかっている。
- ・ 利用したい時にバスがない。又、下船越～椎ノ木自宅までが遠く、登り坂が
続き歩くのに困難。
- ・ 免許返納を考えています。日常生活が非常に不安でなりません。 通院、買い物
等々バスの減便は本当に困っています。良い方法を検討していただきます様に
お願い致します。
- ・ 高校にバス通学出来ないので、引っ越しするしかない。

この他に多数の意見あり。
皆、苦労が滲み出てい
る

主な会議内容

第二回会議

アンケートから非常に
苦勞されていることが
理解できた

第三回会議

バス代替？コミバス？
デマンドタクシー？ライドシェア？
俵ヶ浦半島にはどれが妥当？

実行中の中里皆瀬自治協へ
意見交換を依頼しよう

地元の市議員へ
情報共有化しよう



デマンドタクシー実現に向け会議も活発に

市地域交通課と
1回目の協議

（当地区からの質問事項や
各交通手段について丁寧
な説明を受けた）

第四回会議

（市地域交通課の意見を聞き協議）

俵ヶ浦半島には
デマンドタクシーが
一番だろう

第五回会議

（デマンドタクシー運用に関する具体的な課題協議）

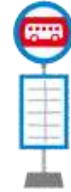
俵ヶ浦半島への
起点バス停は下船越バス停
に決定しよう

市地域交通課へ
2回目会議に向けて
意見集約をしよう

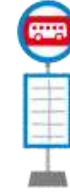


デマンドタクシー（予約制乗り合いタクシー）とは

1. 運行区間



下船越バス停



2. 料金
(片道)



1 名乗車



2 名以上乗車

3. 事前予約

乗車の 2 時間前



4. 運行日

月～金曜日

5. 運行回数

行き 4 便

帰り 4 便

デマンドタクシー実現に向け会議も更に活発に

第六回会議

デマンドタクシーの
愛称はどう決めようか？
やはり公募でしょう

第七回会議

市地域交通課から
デマンドタクシー導入
までの流れについて
説明があったから
協議しよう

市地域交通課と2回目の協議

当地区デマンドタクシーに
2社の希望あり。一安心！
運用開始に向け意見交換をした

第八回会議

市地域交通課の意見
より**優先タクシー事業所**
を絞らないといけない
バス停についても
協議しよう

デマンドタクシーの
愛称公募を開始しよう



デマンドタクシー実現に向け会議も更に活発に

第九回会議

(バス停の協議)

地元だけではなく
観光地が多い地域も
考慮が必要ではないか



市地域交通課と
3回目の協議

〔**停留所案、運行区間や
運行時間等**について協議〕

第十回会議

〔市提示の運行時間について
協議し決定
併せて**停留所名称も決定**〕

第十一回会議

(愛称の協議)

公募により20もの
作品があった！
『**なのはな号**』にしよう

よし、各地区町内の
総会にて経緯を含め
皆さんにお話ししよう



残りの課題

もっひと踏ん張り
ふた踏ん張りだ



タクシー会社と運用時間の決定



バス会社の運用方法や時間の決定



地域公共交通会議開催



国への乗合事業申請及び審議



デマンドタクシー運用決定

済

早くこうなるといいなあ！

GOAL



やったあ！
問題解決だ！
皆、喜ぶぞ～！